

# 「互いにリスペクトする気持ち」



おおたにしょうへいせんしゅ じょうほくしょうがっこう とど こ おおよろこ  
大谷翔平選手のグローブが城北小学校にも届きました。子どもたちは大喜びです。

ねんせい じゅんばん きょうしつ も こ ひとりひとり み さわつ  
6年生から順番に教室へ持って行って、子どもたち一人一人に見たり触ったりしてもらっ  
ています。おおたにせんしゅ おも こ とど おも  
ています。大谷選手の思いが子どもたちに届くといいなと思います。

おおたにせんしゅ せんしゅ ひどがら おお しょうさん え ちい こ  
大谷選手は、選手としてだけでなく、その人柄にも大きな賞賛を得ています。小さな頃  
からおお ゆめ こうこうじだい ゆめ じつげん ぐたいてき こうどうもくひょう さだ ひび と  
から大きな夢をもち、高校時代は夢の実現のために具体的な行動目標を定めて日々取  
り組んできたそうです。(マンダラチャートなど)どんなくも えがお たや  
笑顔を絶やさないとこも  
みりよく  
魅力ですね。

おおたにせんしゅ いまかつやく きょうつう すば  
そのような大谷選手をはじめ、今活躍しているアスリートたちに共通して素晴らしい  
とおも おも じぶん たいせん あいて あいて  
と思うことがあります。それは、自分が対戦する相手や相手チームをリスペクトするという  
ことば しょうりご き みみ ことば こくごじてん  
ことです。勝利後のインタビューを聞くとよく耳にする言葉です。リスペクトを国語辞典で  
しら そんけい けい い か たが ぜんりよく たたか たいせんあいて けい い あらわ  
調べると「尊敬・敬意」と書いてありました。互いに全力で戦った対戦相手に敬意を表  
すことば たいせん とし たたか あいて てき たたか まえ あと おな もくてき  
すことです。対戦する時は、戦う相手(敵)であっても、戦う前と後は同じ目的をもって、  
おな くる れんしゅう の こえ どうし おも  
同じように苦しい練習を乗り越えてきた同志という思いがあるのではないのでしょうか。  
がっこうせいかつ たが きそ あ ばめん か まけ いっさいちゅう  
学校生活では、互いに競い合う場面がたくさんあります。勝ち負けに一喜一憂することも  
かなら あいて たいせん てき いがい  
あります。しかし、そこには必ず相手がいます。対戦しているときは敵であってもそれ以外  
とき おな なかま たいせんあいて き も ほ おも  
の時は、同じ仲間です。そのような対戦相手をリスペクトする気持ちをもって欲しいと思  
か よろこ たの たが ぜんりよく だ きる たの  
います。勝つことだけが喜びや楽しさではなく、互いに全力を出し切ることが楽しい、プレ  
ーすることば たい おも ねが おおたにしょうしょうせんしゅ  
することが楽しいと思えるようになってほしいと願います。大谷翔平選手からプレゼン  
あいて こころ かん と  
トされたグローブから相手をリスペクトする心も感じ取ってくれたらうれしいです。

こうちょう まつうらたつゆき  
(校長 松浦達之)